

聞きたい

第4回定例会の一般質問は、12月5日～8日の4日間で行われ、20名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第4回定例会の本会議の録画映像は、市ホームページのインターネット映像配信でご覧いただけます。会議録は、2月下旬から、市ホームページ（PDF版は2月中旬）または、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー（市役所1階）でご覧いただけます。



本会議の進行を務める篠宮正明議長

一人の人に光を当てる市政であれ！

沢田 孝康
(公明党)



質問 ヤングケアラー支援について、どのような対応を行っているか。

答弁 児童・生徒の変容に気付いた場合、当該の児童・生徒に丁寧な聞き取りを行う。児童・生徒が変容の背景を話したがない場合、学級担任だけでなく、養護教諭やスクールカウンセラーなどが相談に乗れるように体制を整えている。学校によっては、担任と児童・生徒との全責面談を行っている。

要望 引き続き関係各所と連携しながら取り組んでもらいたい。

質問 带状疱疹ワクチン接種の助成についての検討状況を伺う。

答弁 東京都の令和5年度医療保健政策区市町村包括補助事業に係る予算要求概要において、予防接種促進事業に带状疱疹が補助対象として追加されている。都の来年度の予算を確認しながら各市の状況を注視していく。

市民の利便性向上へ向けて

関根 光浩
(公明党)



質問 書かない窓口を起点とした将来的な総合窓口化に向けた考えは。

答弁 段階的な総合窓口化も念頭に、ワンストップサービス開始に当たり、市長より組織機構等の見直しの指示があり、東久留米市組織機構等検討委員会を設置した。検討委員会での結果を令和5年1月末頃を目途に報告するよう指示を受けており、今後、これに向け検討を進める。また、その後も総合窓口化に向けた検討を行っていく。

質問 LINE公式アカウントの導入について、①検討状況は、②実行プランに示された経緯は。

答弁 ①導入している先進自治体に関するセミナーへの参加や資料収集等を行っている。②さまざまな行政手続がスマートフォンアプリにより可能となっている中で、LINE公式アカウントは多くの自治体で導入されていることから、DX推進項目として示した。

小学校体育館エアコン設置の検討は

阿部 利恵子
(公明党)



質問 都の学校体育館へのエアコン設置補助が令和5年度までだが、昨年度中学校体育館に設置したものの検証、小学校への導入の考え方を伺う。

答弁 リース方式により工期短縮が図れ、トータルで管理できる体制が構築できた。活動範囲を集中しての温度管理により電力消費量も抑えられ、動作音は運用の工夫で気にならないようできることも分かった。次年度以降の予算編成の中で庁内で議論していきたい。

質問 学校現場において従来の考え方にとらわれず、自分とは異なる多様な生き方や考え方を尊重し認め合う環境づくりや授業での取り組みを伺う。

答弁 本市は「人権尊重の理念を基盤とした教育」を柱に、個人の違いを認め合い、尊重し合うことも含め考えている。全ての子どもを孤立させないことを第一とし、相談しやすい人間関係づくりや環境整備に努めていく。

多胎児家庭への支援の拡充を

鴨志田 芳美
(日本共産党)



質問 多胎児に特化した産前の相談体制の必要性を感じるが、本市における相談体制と支援の現状について伺う。

答弁 本市における妊娠期の相談支援は、妊婦全数面談、両親学級、妊婦訪問、心理相談員による相談の大きく4つがあり、多胎児においてもその中で保健師や助産師が相談を受けている。

質問 緑内障等の早期発見と治療につながるため、現在三鷹市で行われている眼科検診の事例を参考に、本市においても眼科健康診査を検討していただきたいが、市の見解を伺う。

答弁 本市の特定健康診査は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づいた健康項目に沿って行っている。眼底検査については、特定健康診査を実施した際、医師の判断に基づき選択的に実施する項目となっている。医師と相談いただき、眼底検査を実施していただきたいと考えている。

市民の声を聴く市政運営を！

村山 順次郎
(日本共産党)



質問 事業の企画・立案、点検・実行には、市長が市民の声を聴き対話を重ね、政策判断に反映することが必要不可欠。市民の声を聴く取り組みを伺う。

市長 中学生・高校生世代会議、中学校生徒会役員との懇談、小学校の総合的な学習の時間の授業参観等を通じて子どもたちの声や幅広い年代からの御意見も伺っている。今後の御意見を伺う機会については、コロナ禍も考慮し実施方法等も含め検討したい。

質問 地域公共交通の充実について、展望されてきたバス路線網の拡充が難しくなってきた。コミュニティバスも含めニーズ調査を行い、計画の見直しを進めるべきと考えるが。

答弁 地域公共交通充実に向けた中長期の施策実現にあたっては、交通環境の変化やデマンド型交通実験運行の状況等を把握した上で、地域公共交通会議等の場で議論していきたい。

富士見テラス再建へ市長の意思は

梶井 琢太
(未来政策フォーラム)



質問 富士見テラス再建へ「思い」は。市長 法律的な課題を前に思いだけで話すことは避けたいが議員の「市長の思いを伝えるべき」との部分も受け止め、次回の定例会で方向性を示したい。

質問 中学校給食での温かいおかずの提供について、具体的な検討状況は。

答弁 調理場から温かいものを配送・配膳する方式を第一に検討している。

質問 ①提供回数について、例えば週に4、5回等、最大限に提供すべき、②事前テストのタイミングも含め、今後想定するスケジュールを伺う。

答弁 ①毎日の提供の場合、調理場の大規模改修を要し実現可能性に懸念が生じるが、できる限りの提供回数増を検討中。②想定段階だが、令和5年度中に設計を済ませ、6年度の学校休業期間中に工事を行い、7年度中の開始を想定。テスト時期も併せて検討中。

財政的メリット認められず

問宮 美季
(市民自治フォーラム)



質問 図書館指定管理者から提出された事業報告書の決算額に誤りがあった件について、市の対応を伺う。

答弁 数値の誤りを指摘するとともに、原因の追究と再発防止を求めた。本社の取締役に来庁を求め、緊張感を持って運営に取り組むよう申し伝えた。

質問 中央図書館への指定管理者の導入経費について、令和3年度決算額が平成29年に示された運営方針に記載の金額を上回っており、財政的なメリットはなかったと考えるが。

答弁 運営体制に変更もあり、年度間の経費の比較のみで評価することは難しいと考えている。

ハッスルパワーが新時代を切り開く

宮川 豊史
(久留米ハートネット)



質問 「市民参加・情報提供の指針」の令和4年第一回定例会以降の進捗状況は。

答弁 庁議にて改めて指針の趣旨や審議会等の実施状況、会議録の公表について説明した上で、全課に通知した。

質問 東久留米市のこの1年は富田竜馬新市長の誕生により新時代の幕開けとなった。市長が「やれば出来る！やれる・出来る市役所へ」という明確なメッセージを示したことで、行政全体が前向きになり、さまざまな課題解決に向けて積極的に取り組み始めた。富田市政のこの1年を評価するが、試されるのはこれから。新しいことに取り組むのは良いが、それだけでは行政サービスは膨れ上がる一方。財政はいつか破綻する。歳出削減は誰もが避けたがるが、それを避けては新しい行政サービスは実現できない。厳しい改革に取り組んでこそ新時代の道が切り開かれる。来年度に向けてどのような予算編成をするか。未来志向の公共施設マネジメント、人によさしいデジタル化、子どもたちへの投資の3つが重点事項。すべての事業を新たな視点で見直し、次の50年の礎となる一歩を踏み出したい。

未来に向けた市政運営を！

島崎 清一
(自民クラブ)



質問 市長就任1年目を振り返っての思いや今後の考えについて伺う。

市長 市政を進ませるべく責任の重さを感じるとともに、市民の皆様や各関係機関の御理解と御協力をいただき、職責を果たしてこることができた。今後は、DX・GXの推進を基軸とした政策の重点事項に係る事業を進め、本市の目指す「あんしんして暮らせるまち」実現に向け取り組んでいきたい。

質問 介護認定申請の状況は。

答弁 都への緊急事態宣言発令に伴い、認定期間を延長できる臨時的取り扱いが厚生労働省より示され、本市では6カ月間の認定期間延長を実施。現在は35日程度で結果が出るようになっていく。今後について、厚生労働省から臨時的な取り扱いを令和4年度末で終了する考えや、申請件数や事務量増大の懸念が示されている。可能な限り適切に対応していきたい。

ふるさと納税の寄附額増加を評価

野島 武夫
(自民クラブ)



質問 地球温暖化対策の推進について。

答弁 ゼロカーボンシティ宣言の表明については、柳泉園のみみ発電による余剰電力を活用した電力の地産地消事業の検討、本庁舎における再生可能エネルギー等を活用した非常用電源確保など、脱炭素化に向けた具体的事业の取り組み状況等を見据えながら検討していく。

質問 ふるさと納税の現状と今後の対応は。

答弁 ふるさと納税の実績は11月末時点で前年、3754万円。本年度に入って8つの事業者より合計29の商品を新たに返礼品として追加していただいた。9月に市内事業者の釣具を返礼品に追加して以降、担当の見込みを大きく超えて多くの方にふるさと納税をいただいている。引き続き、返礼品の充実に向けて取り組んでいく。